

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和2年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	49	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (主) 大船渡広田陸前高田線 船河原	事業番号	D-1-7
交付団体		県	事業実施主体(直接/間接)	県	
総交付対象事業費		4,541,638(千円)	全体事業費		5,474,000(千円)
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた末崎町船河原地区と小細浦地区の市街地を結ぶ幹線道路となる(主)大船渡広田陸前高田線(船河原)の道路整備を行う。</p> <p>(主)大船渡広田陸前高田線(船河原)は、国道45号と小細浦地区を結ぶ主要道路であるとともに、沿線にはJR大船渡線細浦駅が立地するなど当地区の生活道路としても重要な路線である。</p> <p>今回の津波により、細浦地区の多数の家屋が流失するなどの被害が生じたことから、高台移転などとあわせて浸水区域を回避する延長2.2kmの2車線道路を整備するものである。</p> <p>現状は、平成27年度に用地取得に着手、平成28年度に工事着手し、平成30年度末までに用地取得、その1工区の道路改良が完了。令和元年度はその2工区の函渠工・道路改良、その3工区の函渠工2基・道路改良について施工を進め、令和2年度は引き続き函渠工・道路改良舗装を進める。令和3年度の全線供用に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16 ・多重防災型まちづくり推進事業(まちづくり連携道路整備事業) 道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成29年1月19日) 当初事業費算出時の空中写真測量と現地測量の結果の差異による道路線形の見直しと、単価上昇から工事費が増額したため、D-4-5災害公営住宅整備事業(末崎)より244,679千円(国費:H23補正予算201,860千円)、D-4-6災害公営住宅整備事業(綾里)より34,974千円(国費:H23繰越予算28,854千円)、◆D-1-5-1まちづくり連携道路整備事業(道路)より34,916千円(国費:H23補正予算28,806千円)、◆D-1-5-2まちづくり連携道路整備事業(街路)より、117,793千円(国費:H23補正予算97,179千円)を流用。これにより、交付対象事業費は2,537,638千円(国費:2,093,551千円)から2,970,000千円(国費:2,450,250千円)に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成30年10月10日) 令和元年度執行分として、D-1-5まちづくり連携道路整備事業((主)大船渡綾里三陸線 越喜来)より40,580千円(国費:33,479千円)、D-1-6まちづくり連携道路整備事業((一)崎浜港線 越喜来)より26,336千円(国費:21,727千円)、洋野町D-1-1まちづくり連携道路整備事業(八木)より118,916千円(国費:98,106千円)、宮古市D-1-1まちづくり連携道路整備事業(鍬ヶ崎)より70,577千円(国費:58,226千円)、宮古市D-1-5まちづくり連携道路整備事業(千鷲)より28,081千円(国費:23,167千円)、釜石市D-1-5まちづくり連携道路整備事業(下荒川の2)より54,393千円(国費:44,874千円)、陸前高田市D-1-1まちづくり連携道路整備事業(小友)より161,117千円(国費:132,921千円))を流用。これにより、交付対象事業費は2,970,000千円(国費:2,450,250千円)から3,470,000千円(国費:2,862,750千円)に増額。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成26年度>測量設計等 <平成27年度>測量設計等 用地補償 <平成28年度>用地補償 工事等 <平成29年度~令和3年度>用地補償 工事等</p>					

東日本大震災の被害との関係

・東日本大震災津波により被害を受けた船河原地区において、大船渡市の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。
--

関連する災害復旧事業の概要

なし

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
------	--

事業名	
-----	--

交付団体	
------	--

基幹事業との関連性

--

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和2年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	50	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (一) 碁石海岸線 末崎～碁石	事業番号	D-1-8
交付団体		県	事業実施主体 (直接/間接)	県	
総交付対象事業費		2,901,141 (千円)	全体事業費	3,516,020 (千円) 3,351,046 (千円)	

事業概要

東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた末崎地区と碁石地区の市街地相互を連絡する主要道路である(一)碁石海岸線(末崎～碁石)の道路整備を行う。

(一)碁石海岸線は、末崎地区と碁石地区を連絡する主要道路であるとともに、碁石海岸(国の名勝・天然記念物)へのアクセス道路としての機能を担う重要路線である。

今回の津波により、多数の家屋が流失するなどの被害を受けたことから、高台移転などのまちづくりと一体となった災害強い延長2.7kmの2車線道路を整備するものである。

現状は、平成28年度までに道路設計及び用地測量が完了、同年度より用地取得及び道路改良工事に着手し、令和3年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。

【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16

・多重防災型まちづくり推進事業(まちづくり連携道路整備事業)

道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施

(事業間流用による経費の変更)(平成31年1月11日)

令和元年度事業費として、D-4-4 災害公営住宅整備事業(大船渡)から1,259千円(国費:1,038千円)、◆D-4-4-1 災害公営住宅整備事業(大船渡市)から1,424千円(国費:1,174千円)、久慈市D-1-1 まちづくり連携道路整備事業(玉の脇)から1,670千円(国費:1,378千円)、野田村D-1-6 まちづくり連携道路整備事業(下安家)から55,182千円(国費:45,525千円)、野田村D-1-8 まちづくり連携道路整備事業(野田)から70,000千円(国費:57,750千円)、田野畑村D-1-1 まちづくり連携道路整備事業(羅賀)から48,032千円(国費:39,626千円)、田野畑村D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(明戸)から18,550千円(国費:15,303千円)、大槌町D-1-9 まちづくり連携道路整備事業(赤浜)から219,442千円(国費:181,039千円)、大槌町D-4-4 災害公営住宅整備事業(大槌)から16,179千円(国費:13,347千円)、釜石市D-1-13 まちづくり連携道路整備事業(松原)から9,553千円(国費:7,881千円)、陸前高田市D-1-1 まちづくり連携道路整備事業(小友)から151,591千円(国費:125,062千円)、陸前高田市D-1-11 まちづくり連携道路整備事業(竹駒)から1,773千円(国費:1,462千円)を流用。これにより、交付対象事業費は2,612,352千円(国費:2,155,190千円)から3,207,001千円(国費:2,645,775千円)に増額。

(事業間流用による経費の変更)(令和元年10月7日)

令和2年度事業費として、宮古市D-1-4 まちづくり連携道路整備事業(石浜)から8,485千円(国費:7,000千円)、釜石市D-1-6 まちづくり連携道路整備事業(室浜)から2,857千円(国費:2,357千円)、野田村D-1-8 まちづくり連携道路整備事業(野田)から8,888千円(国費:7,332千円)を流用。これにより、交付対象事業費は3,495,790千円(国費:2,884,026千円)から3,516,020千円(国費:2,900,714千円)に増額。

(事業間流用による経費の変更)(令和2年11月13日)

事業費精査により工事費等の額が減額したため、陸前高田市D-1-2 まちづくり連携道路整備事業(今泉大橋)へ164,974千円(国費:136,103千円)を流用。これにより、交付対象事業費は3,516,020千円(国費:2,900,714千円)から3,351,046千円(国費:2,764,611千円)に減額。

当面の事業概要	
<平成 24 年度>道路詳細設計 <平成 25 年度>用地測量 構造物詳細設計 <平成 27 年度～平成 28 年度>用地測量 用地補償 交差点詳細設計 道路修正設計 工事 <平成 29 年度～平成 30 年度>用地補償 工事等 <令和元年度～令和 3 年度>工事等	
東日本大震災の被害との関係	
・東日本大震災津波により被害を受けた末崎～碁石地区において、大船渡市の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。	
関連する災害復旧事業の概要	
なし	

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和2年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	124	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (主) 大船渡綾里三陸線 赤崎	事業番号	D-1-25
交付団体	岩手県	事業実施主体 (直接/間接)	岩手県 (直接)		
総交付対象事業費	8,288,000 (千円)	全体事業費	8,471,000 (千円)		
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた赤崎地区のまちづくりと一体的に整備し、半島各集落の孤立解消に寄与する(主)大船渡綾里三陸線(赤崎)の道路整備を行う。</p> <p>(主)大船渡綾里三陸線(赤崎)は、大船渡市中心部と蛸ノ浦漁港などを結ぶ主要道路であるとともに、沿線には小中学校が立地するなど当地区の生活道路としても重要な路線である。</p> <p>今回の津波により、赤崎地区の多数の家屋が流失するなどの被害が生じたことから、高台移転や公共施設の移転などとあわせて浸水区域を回避する延長4.1kmの2車線道路を整備するものである。</p> <p>平成26年度に用地取得着手、平成27年度に工事着手し、令和元年度12月末までに事業地内の用地買収及び主要構造物の1工区函渠工、2工区橋梁工、函渠工(アーチカルパート)、3工区函渠工、5工区函渠工の施工が完了している。今年度は、残りの4工区の函渠工完成を予定している。道路改良についても、2、3工区を中心に進めており、令和3年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進めている。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16</p> <p>・多重防災型まちづくり推進事業(まちづくり連携道路整備事業)</p> <p>道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成29年1月19日)</p> <p>切土法面の崩壊が発生し対策を施す必要があることから、工事費が増額したため、D-4-5災害公営住宅整備事業(末崎)より86,000千円(国費:H23補正予算70,950千円)を流用。これにより、交付対象事業費は6,167,000千円(国費:5,087,775千円)から6,253,000千円(国費:5,158,725千円)に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成30年10月10日)</p> <p>令和元年度執行分として、陸前高田市D-1-1まちづくり連携道路整備事業(小友)より、97,000千円(国費:80,025千円)を流用。これにより、交付対象事業費は6,253,000千円(国費:5,158,725千円)から6,350,000千円(国費:5,238,750千円)に増額。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成26年度>測量設計 用地補償等</p> <p><平成27年度>測量設計 用地補償 工事等</p> <p><平成28年度>用地補償 工事等</p> <p><平成29年度>工事等</p> <p><平成30年度>工事等</p> <p><令和元年度~令和3年度>工事等</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災津波により被害を受けた赤崎地区において、大船渡市の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
なし					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					